

Hi, friends 1 Lesson 8 第1時

6 本時の学習 (1 / 5)

(1)本時のねらい : 曜日や教科などの言い方を知る。
(児童のめあて… 例 教科の言い方を知ろう!)

(2)評価規準 : なし

(3)展開

過程	児童の活動	学級担任の活動	・ 指導上の留意点 ☆準備物 (コ) (慣) (気) 評価規準 < > 評価方法 ◆ 他教科との関連
挨拶	○始めの挨拶 “Let’s start!” ○ジェスチャーしながらあいさつ	“Let’s start!” “How are you?”	
導入	○どんなやりとりをしているかな? ・先生たちの会話を聞いて、内容を考える。	・ジェスチャーやヒントを与えながら、好きな教科について会話をし、教科の言い方を紹介する。 【例】指導者 A: What subject do you like? 指導者 B: I like Japanese. (黒板に漢字などを書く) What subject do you like? 指導者 A: I like math. (黒板に計算式を書く)	
展開	○本日のめあてを知る。 OP.32, 33【Let’s Play①】 スリーヒントクイズ ・音声教材で英語の3つのヒントを聞き、何の教科のことを言っているのか考える。 ・答えを聞いて、教科の英語の言い方を知る。 ○ポインティングゲーム ①個人で ・先生の言う語を聞いてどの絵のことを言っているのか指さす。 ②ペアで(一緒に) ・ペアになり1つの誌面を見る。 ・先生の言う語を聞いてどの絵のことを言っているのか 2人で一緒に指さす。 ○カード取りゲーム ・2人で 1組、巻末児童用絵カード (P.51)を準備する。 ・先生が言う語のカードを取り合う。 ・ラッキーナンバーに近い枚数を取った児童の勝ち OP.33【Let’s Listen①】 今日の時間割は何か考えよう。 (P.51の絵カードを1人1組準備) ・音声教材を聞いて、聞き取った時間割どおり絵カードを並べる。 ・答えを確認する。	・本日のめあてを伝える。 ・音声教材のヒントだけでわからない時には、その教科に関係するジェスチャーを交えたりして、理解を助ける。 ・答えの教科の絵カードを提示する。 ・P.32, 33の絵を見るよう伝える。 ・活動を説明する。 ・英語を言い、答えのカードを黒板に貼って確認する。 ・前もってラッキーナンバーを決めておく。 (カードは10枚なので10までの数) ・教科を英語で言う。 ・ラッキーナンバーを告げ、その数に近い枚数を取った児童の勝ちとする。 ・活動を説明する。 ・音声教材を聞かせ、答えを確認する。	☆掲示用絵カード(教科) ・ペア活動では速さを競わず、同時に指さすことを意識させると全員が参加しやすい。 ・慣れてきたら競争させてもよい。 ☆巻末児童用絵カード(P.51) ・単なる数の競い合いにさせないためラッキーナンバーを決めるようにする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の言う時間割を聞いて自分たちの何曜の時間割か考える。 ・曜日の言い方を聞く。 <p>OP.34【Let's Sing】 Sunday, Monday, Tuesday</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合わせて、デジタル教材と一緒に歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室にある時間割表からある曜日を決め、1時間目から順に英語で言う。 ・何曜日が答えさせ、曜日を英語で言い、掲示用絵カードを黒板に貼る。 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を聞かせる。 	☆掲示用絵カード(曜日)
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ○ふり返しカードに記入。 ○終わりの挨拶 “Let's finish.” 	<ul style="list-style-type: none"> ○ふり返しカードを配付する。 何人かに発表させ、回収する。 “Let's finish.” 	☆ふり返しカード